

27

Think globally, Act locally.
地球規模で考えながら、
自らの足元を見つめて行動する

株式会社ワールド・ヘリテイジ
ホテルアジュール・奈良

代表取締役社長

川井徳子

ホテルアジール・奈良をはじめとする私たちワールド・ヘリテイジでは、「グローバル」という考え方を意識的に取り入れています。それは、世界的視野で考え、地域の共同体とコンセンサスをはかりながら、地元で働いて貢献することです。

観光の語源は、「国の光を観ること」。つまり、私たちが携わる観光・サービス業とは、「国（地域）の光を観ていただくこと」なのです。まず自らが地域の光・輝きを理解することが必要なのだと考えています。

「ゲニウス・ロキ」という言葉をご存知でしょうか。これは古代ローマ人が大切にしていた考え方で、「それぞれの場所を守る地霊」を表しています。日本で言うところの産土神うぶつちのかみです。古人が大切にしてきたこの概念は、現代の私たちに「どの土地にも、それぞれ歴史と紡がれた想いがある」ことを教えてくれます。たとえ有名な遺構や世界遺産がなくても、その土地にしかない「光」が必ずあるはず。旅する人々に、それをお伝えすることが、私たち観光事業者の真の使命 (noblesse oblige) ではないでしょうか。

地域固有の美しい景色や美味しい食べ物をご紹介します。悦びや感動を分かち合える場や時を創りあげる。その一つひとつが、わざわざ足を運んでくださるお客さまにとっての「光」になるのだとしたら、こんなに素晴らしいことはありません。地域を越えて、国を越えて、たくさんの人びとが交流する社会の実現、交流人口型社会建設の役割に立てればと思います。ご支援のほどよろしくお願い致します。



川井 徳子 (かわい・のりこ)

1958年生まれ。観光業を営む㈱ワールド・ヘリテイジのほか、不動産業、運送業、IT・デザインなど5つの会社を束ねるノブレスグループの代表。立命館大学(西洋史専攻)卒業。97年に父親の会社を引継ぎ、日本庭園「何有荘」、「ホテル関西」をはじめ多くの不良債権物件をよみがえらせてきた。そのうちの一つであり経営する「ホテルアジール・奈良」は「ミシュランガイド京都・大阪・神戸・奈良 2013」において、2年連続2パビリオンの評価を得る。現在は、観光と不動産再生事業に軸足を置き、交流人口社会の創造を合言葉に、文化事業と地域の活性化、被災地の復興に取り組んでいる。著書に『不動産は「物語力」で再生する』(東洋経済新報社 11年12月発行)。